

## Abstract

オバマ政権期における国防組織改編の模索——国防イノベーションの組織的側面

森聡（法政大学教授）

オバマ政権は、国防予算が削減されていく中で、米国を取り巻く安全保障環境の悪化を受け、技術の革新的運用、作戦概念の刷新、組織の改編を柱とする国防イノベーションに着手し、いわゆる第三次オフセット戦略を追求し始めた。本稿は、特に国防組織の改編について、オバマ政権による次の三通りの取り組みを明らかにした。すなわち、第一に、研究・開発組織を設置したり、イノベーションの管理・監督体制を確立するなど、イノベーションを推進する体制を整備した。第二に、ウォーゲームを活用して新たな作戦概念や指揮・統制モデルを模索したり、サイバー軍を正式な軍種としたり、コンピュータ科学・技術・工学などの分野における高度な人材を育成するなど、新たな作戦概念を支える軍事組織を模索した。第三に、国防省は先進情報技術などの新たな分野へのアクセスや、兵器調達制度の改革も進めた。オバマ政権期に始まった国防組織の刷新は、今日のイノベーションの趨勢に見合う形で、分権的かつ開放的な体制の下で、試行錯誤を奨励する文化の中で進められた。

『国際安全保障』第45巻第1号（2017年6月）24–42 ページ。